

〔 横浜みなとみらいホール 〕
 平成 27 年度業務報告及び収支決算
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい 2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688 m ²
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成34年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

指定管理第2期（平成27-29年度）の初年度として、市民が音楽に触れるきっかけとなるような新たな事業への取組みと、これまで継続してきた事業の精査を行い、より質の高い芸術文化を発信するための素地をつくりました。また、横浜市が行うダンスイベント（DANCE DANCE DANCE @YOKOHAMA）との連携をはじめ、近隣商業施設やMICE施設・教育機関・財団専門施設との連携も展開し、新規顧客の開拓・拡大にも努めました。各業務の精査・拡充を図り、次年度に開催される「横浜音祭り2016」において、横浜みなとみらいホールのプレゼンスを高めるための足固めを行いました。

(2) 27年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業

横浜アーツフェスティバル（ダンス）の年にあわせ、財団他部署とも連携しながらダンスと音楽

とのコラボレーションを軸とした多様な事業を展開しました。主催事業全体の顧客満足度や合計入場者数では目標を上回るとともに、ロンドン交響楽団公演やショスタコーヴィチ弦楽四重奏全曲演奏会など特色ある公演が注目を集め、横浜市外からも多くの来場者を得ることができました。アウトリーチなどの音楽普及活動や次世代育成事業も目標以上の回数を達成しましたが、次年度に向けた内容の検証もあわせて進めました。

②運営

大・小ホールは今年度も90%を超える高い稼働率で安全に運営することが出来ました。稼働率向上が課題となっていた音楽練習室については80%の稼働率を達成し、レセプションルームについてもレセプション利用や演奏会の利用など様々なご利用方法を利用者へ提案するなど利用が増加しました。このほか、昨年度に引き続いて、顧客向けコンサートを始めとした企業関わった利用のほか、今後のMICE関係の利用誘致に向けMICE事業者やコンベンション事業者への演奏付き説明会を行い、新たな層に横浜みなとみらいホールをアピールすることができました。

③広報

ホール周辺の地域や企業等とはポスティングや企業人向けイベント等を行い、プレス関係者とは日常的な情報提供や次年度事業のプレス懇談会を開催するなど活発な情報交換・交流を行いました。年度前半で広報面でのあるべき姿の検討を重ね、後半ではホームページやカレンダー等広報物のリニューアルを実施しました。首都圏からの来訪率向上のためには、広範なパブリシティを行い、取り上げてくれる広報媒体が広がりました。

今年度の分析・改訂を日々の変化とともにアップデートし、情報の収集と魅力ある発信に努めます。

④施設維持管理

開館以来17年以上が経過し、施設の経年劣化が大きな課題となっていますが、「安全・安心な施設の提供」のため、日常点検による不具合の早期発見等に努め、事故なく終えることができました。

4 経営についての達成状況

(1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

[目指す成果]

自主事業と施設貸出事業の最適配分を考えた経営で、ホール機能を最大限に発揮する

横浜市の文化政策を実現化するため、ホール経営を統括する人材を配置するなど、専門人材の充実と適切な配置による組織体制の強化に努めます。また、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮し、音楽文化を通じて都市活性化に寄与することで、地域社会への貢献度を高めていきます。

[成果についての振り返り]

自主事業・施設貸出事業との利用配分を都度検討するとともに、施設全体の収支バランスに配慮した経営を行い、約2,000万円の黒字決算になりました。公演制作において高い実績を有する専門家を企画運営アドバイザーとして迎え、主催事業の質の向上を中心にホール業務全般にわたるアドバイスを受けるなど、専門人材の充実と適切な人員配置により、組織体制を強化しました。また、横浜市が開催するダンスイベント「DANCE DANCE DANCE @ YOKOHAMA」との連携企画や目標値を上回る件数の教育機関・地元オーケストラとの協働・連携事業を実施し、音楽文化を通じて地域の活性化に寄与しました。

<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)組織内連携と経営強化</u></p> <p>●組織体制を強化します。</p> <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <p>●財団組織・施設と連携し、横浜市が開催するダンス系フェスティバルの賑わいづくりに寄与します。</p> <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <p>●教育機関や地元オーケストラ団体との協働・連携に取組みます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>(ア)組織内連携と経営強化</u></p> <p>■適切な人員配置。</p> <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <p>□ダンスと音楽のコラボレーション事業実施：3公演</p> <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <p>□教育機関との協働・連携企画：7団体</p> <p>□オーケストラ団体との協働・連携企画：1件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア) 組織内連携と経営強化</p> <p>■各専門性に応じた適切な人員配置により組織体制を強化しました。</p> <p>(イ) 財団全体での総合力発揮</p> <p>□3公演</p> <p>8/20 ヤング・アメリカンズ (1,265人)</p> <p>9/ 5 ダンスダンスダンスファミリーコンサート ケロボンズとうたって遊ぼう! (1,240人)</p> <p>9/11 ニーナ・アナニアシヴィリ 瀕死の白鳥inコンサート (2,172人)</p> <p>(ウ) 社会的協働・連携の取組み</p> <p>□教育機関連携：7団体 (12件) (市内中学職業体験受入:11月、地元私立大学インターンシップ受入:2月、横浜市教育委員会連携事業「心の教育ふれあいコンサート」全20公演、昭和音大連携事業「メサイア」:12/12、市立戸塚高校講演会:7/15、アウトリーチ:7/5・11/5、市内小学校アウトリーチ4件、市内中学校アウトリーチ1件)</p> <p>□神奈川フィルとの連携：1件 (年間3回実施) 地域に根差した活動を通して音楽芸術の振興を図る神奈川フィルと当ホールとの連携 ホールおよび神奈フィルの友の会会員を対象とした定期演奏会前の公開リハーサル2回:7/10, 2/12 MMCC (みなとみらいコミュニティクラブ) を対象とした川瀬常任指揮者トークイベント:6/3</p>
--	--	---

(2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

<p>[目指す成果]</p> <p><u>観光振興や創造都市形成に向けた取組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u></p> <p>周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>近隣住民への地道な広報活動を行いながら、クイーンズスクエアや近隣ホテルへのアウトリーチ事業を多数実施し、来街者に対しても横浜みなとみらいホールのアピールを積極的に実施しました。更に横浜市の政策に則り、MICE</p>
--

施設との連携も始動し、広く「ホールのある街」が実感できる取組みを展開しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>(ア)「ホールのある街」戦略</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民へホールや事業のPRを行います。 ●MMccを活用し、集客や街のにぎわいに貢献します。 <p><u>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化します。 ●コンベンションの一環としての利用促進 	<p><u>(ア)「ホールのある街」戦略</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □近隣マンション自治会への協力・情報提供 ・マンション内設置のチラシラックのメンテナンス 毎月1回 □MMccの活用 ・世話人会への参加情報交換 毎月1回 ・ホールへ呼び込むプログラムの提案 <p><u>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □パシフィコ横浜との情報交換実施：年4回 □年1回誘致 	<p>(ア)「ホールのある街」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ■適宜連絡を取り合い情報提供し、マンション自治会が中心となり開催された「秋まつり」への協賛や広報宣伝などを実施しました ・ポスティングおよびチラシラックのメンテナンスや情報提供先を増やし毎月1回以上近隣への情報提供を実施しました □MMccの活用 ・世話人会への情報交換として毎月1回、年12回出席 ・自主公演への誘因として特別キャンペーンを実施しました(11月) 11/10「グレート・アーティスト・シリーズVol.3山本直純」8名の参加 6/3 神奈川フィル川瀬常任指揮者トークイベント 43名の参加 (イ)ビフォア・アフターコンベンション対応 □利用状況や新規サービス等について、年4回の情報交換を実施しました。5月にパシフィコ横浜と連携し、トライアルでパイプオルガン演奏会を実施し、11月の国際学会でのパイプオルガン演奏会につなげました。また、年度を越えた中期的スパンの利用も開拓しています。 □国際学会でのパイプオルガン使用：2回 (5/15:ACN2015、11/4:IETF2015)
<p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の文化施設等との連携をはかり、相乗効果につなげます。 <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣商業施設との連携を強化し、地域全体でのにぎわいを創出します。 	<p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □横浜能楽堂との提携 □横浜美術館との提携 <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □クイーンズスクエア等とのイベント協力 年3回 	<p>(ウ)文化施設連携事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> □11/21 横浜能楽堂・横浜みなとみらいホール提携公演 日韓伝統音楽祭50 □11/25 横浜美術館・横浜みなとみらいホール提携 Auraコンサート (エ)商業連携の推進 □計6回実施 ・クイーンズサークルでの演奏2回:みなとみらいSuper Big Band11/13, 20 ・クイーンズスクエア内Xmasツリーへの音楽提供:パイ

<p>(オ)当日参加可能事業の情報発信</p> <p>●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信</p> <p>(カ)パブリシティの強化</p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>(オ)ツイッターでの発信</p> <p>□年間 200 ツイート</p> <p>(カ)パブリシティの強化</p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>プオルガン11/17～12/25</p> <p>・ベイホテル東急との連携事業（レストラン・ショーへの歌手派遣）12/19、23、1/8</p> <p>(オ) ツイッターでの発信（3/28現在）</p> <p>□年間205ツイート、765リツイート</p> <p>■追加情報を紹介したい公演や完売していない公演は、直前情報や当日券販売状況を事前告知しました</p> <p>(カ)パブリシティの強化</p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>
---	---	--

5 事業についての達成状況

(1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる</p> <p>平成 27 年度は横浜アーツフェスティバル（ダンス）開催の年にあたります。</p> <p>世界的に評価の高い公演と、ダンスの年にあわせた横浜オリジナルのダンスコラボレーション事業を展開。横浜からの発信事業、横浜芸術アクション事業を成功させ、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p>イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する</p> <p>国内を代表するコンサートホールとしてのポテンシャルを最大限活かしつつ、音楽の発信基地としての位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的に開催される低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を広げます。</p> <p>当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>世界的に評価の高い2公演は、大変熱のこもった名演を提供し、目標人数を大きく上回る集客となりました。DANCE DANCE DANCE @ YOKOHAMA との提携事業については、多様な音楽ジャンルとのコラボレーションを実施し集客目標を達成しました。ゲーム音楽「ファイナル・ファンタジー」をテーマにしたロンドン交響楽団の演奏会は市外からも多数のお客様を迎え、若年層に「驚き」の演奏を提供することが出来ました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>ア 日本を代表するホールにふさわしい事業</p> <p>(ア)世界的に評価の高い公演を実施</p> <p>●ビエロフラワーヴェク指</p>	<p>ア 日本を代表するホールにふさわしい事業</p> <p>(ア)世界的に評価の高い事業</p> <p>□顧客満足度 80%</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 日本を代表するホールにふさわしい事業</p> <p>(ア)世界的に評価の高い事業</p> <p>チェコ人の指揮者と名門オーケストラによる定番演目「新世界」の公演と若手指揮者と日本を代表するN響</p>

<p>揮チェコフィル（横浜芸術アクション事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NHK交響楽団横浜定期 	<p>□合計入場者数 3,000人</p>	<p>の特別版バレエ音楽「白鳥の湖」の公演。共催者との連携も含めた広報活動により両公演ともほぼ完売にて実施。両公演ともにオーソドックスな演目が有する魅力や価値を最高レベルの演奏で提供するという、音楽専門施設の基礎となる重要な公演となった。チェコフィルメンバーによる高校生向けクリニックも同時開催。次世代育成にも成果を上げました。</p> <p>□顧客満足度 91%</p> <p>□合計入場者数 3,800人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チェコフィル1,930人 ●NHK交響楽団1,870人
<p>(イ)横浜芸術アクション事業としてダンスコラボレーション事業を企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熱帯JAZZ楽団 ●日本フィル+バレエ公演 ●石田泰尚+ダンス公演 ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 	<p>(イ)ダンスコラボレーション事業</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□合計入場者数 4000人</p>	<p>(イ)ダンスコラボレーション事業</p> <p>熱帯JAZZ楽団はダンスナンバーを多く組み入れ実施。また石田泰尚企画の「兵士の物語」は東京バレエ団の高岸直樹が登場してバレエ界でも話題となりました。日本フィル+バレエ公演は、当初計画立案以降、オーケストラとの協議の中で作曲家・故山本直純を顕彰する企画案が持ち上がり、ダンスコラボレーション事業は他にもすでに複数立案されていたことも勘案しつつ、「グレート・アーティスト・シリーズ」として開催する方針に変更しました。音楽振興に功績のあったアーティストの顕彰は価値があるとの評価を受け、数々の雑誌・新聞で紹介されました。</p> <p>□顧客満足度 91%</p> <p>□合計入場者数 3,084人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熱帯JAZZ楽団(915人) ●日本フィル公演 グレート・アーティストシリーズ 山本直純(514人) ●石田泰尚+ダンス公演(840人) ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 横浜能楽堂・横浜みなとみらいホール提携公演 日韓伝統音楽祭 50(815人)
<p>イ 創意工夫を凝らした公演</p> <p>(ア)多様な音楽ジャンルのイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ロンドン交響楽団(横 	<p>イ 創意工夫を凝らした公演</p> <p>(ア)多様な音楽ジャンルのイベント</p> <p>□顧客満足度 80%</p>	<p>イ 創意工夫を凝らした公演</p> <p>(ア)多様な音楽ジャンルのイベント</p> <p>特にロンドン響は、ゲーム音楽のみを演奏するオーケストラ公演であったが、20代~30代の層・市外入場率</p>

<p>浜芸術アクション事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こどもの日コンサート ●ヤング・アメリカンズ・ショー ●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration ●ジルヴェスター・コンサート <p>(イ)これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オルガン1ドルコンサート ●みなとみらいクラシック・クルーズ ●みんな集まれ!おんがくひろば 	<p>□合計入場者数 9,000人</p> <p>(イ)低料金コンサート</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□合計入場者数 18,800人</p>	<p>ともに8割を占め、アンケート・終演後の反応も良く横浜みなとみらいホールの良さを広く知らせる効果が高かったと考えます。</p> <p>□顧客満足度 94%</p> <p>□合計入場者数 10,116人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ロンドン交響楽団(横浜芸術アクション事業)(3,684人) ●こどもの日コンサート(2,522人) ●ヤング・アメリカンズ・ショー(1,265人) ●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration(790人) ●ジルヴェスター・コンサート(1,855人) <p>(イ)低料金コンサート</p> <p>オルガン1ドルコンサートでは、来場者への横浜美術館企画展優待やチラシ配布協力など、横浜美術館と連携したプロモーション強化が集客増につながりました。</p> <p>□顧客満足度 93%</p> <p>□合計入場者数 22,921人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オルガン1ドルコンサート(10,709人) ●みなとみらいクラシック・クルーズ(11,333人) ●みんな集まれ!おんがくひろば(879人)
--	---	--

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する</p> <p>横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たな創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。</p> <p>イ 「横浜芸術アクション事業」を実施する</p> <p>「横浜音祭り2013」の成果を踏まえ、平成27年度も魅力的な演奏会を開催していきます。特にダンスとのコラボレーション事業を企画の核としながら、世界第一級のオーケストラ、さらに今後の市場が見込まれるゲーム音楽など多様な目配りをした事業ラインナップで、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>オペラを気軽に楽しんでもいただくコンセプトの小ホールオペラは、斬新な演出による発信性高い公演となりました。現代音楽のJustComposedについては話題の作曲家をプロデューサーとして迎え、独自性のある企画構成で開催しました。オルガン事業ではオルガンを持つ他ホールと連携しました。</p>

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 独自性の高い事業</p> <p>(ア)横浜みなとみらいホール独自の 小ホールオペラシリーズの開催</p> <p>●「コジ・ファン・トゥッテ」</p> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <p>●若手作曲家を起用した「Just Composed2015」</p> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <p>●オルガンリサイタルなど、他施設との連携事業の実施</p>	<p>ア 独自性の高い事業</p> <p>(ア)小ホールオペラ</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□総入場者数 600人</p> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <p>□入場者数 250人</p> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <p>□他都市連携事業 1回</p>	<p>ア 独自性の高い事業</p> <p>(ア)小ホールオペラ</p> <p>ピアノを伴奏に小ホールの小さな舞台で限られた演出・衣裳で歌を聴かせる入門編オペラ事業。高尚で難しいといったオペラに対するイメージを払拭するべく、過去公演の映像を使用した楽しいプロモーション動画の活用も功を奏して満席となり、オペラの楽しさを印象づけ、オペラファン、声楽ファン、ホールのファンを増やす公演となりました。近隣の民間文化センターのオペラ講座との共同講座開設など、入門としてのあり方にこだわって実施しました。</p> <p>□顧客満足度 93%</p> <p>□総入場者数 642人</p> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <p>作曲委嘱と過去の委嘱作品の再演を企画の中心としている「公」でないと取り組み難いプロジェクト。今回は若手作曲家2名が弦楽四重奏編成で書き上げた。</p> <p>□入場者数 134人</p> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <p>1事業は同じオルガニストの別の側面(横浜:バッハ・川崎:現代)を見せ聴かせる企画を共同で実施。</p> <p>1事業はここ3年協働で取り組む3館でのオルガンツアーを継続。各会館のオルガンの個性を味わえる。</p> <p>□他都市連携事業 2回</p> <p>オルガンリサイタル「フォクルール」 ミューザ川崎 オルガンツアー ミューザ川崎 県民ホール</p> <p>※27年度業務計画後開催決定</p> <p>モルゴーア・カルテット ショスタコーヴィチ全曲演奏(12/31 397名)</p> <p>12/31の13時より1月1日にかけて全15曲をショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲に取り組むために結成されたモルゴーアに初めて1日のうちで実施してもらう企画として開催させました。</p> <p>市外からの来場も多くアンケートの反応も良く、後パブでも8番の名演など評価をいただきました。</p>

<p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ピエロフラーヴェク指揮チェコフィル ●熱帯 JAZZ 楽団 ●日本フィル+バレエ公演 ●石田泰尚+ダンス公演 ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 ●ロンドン交響楽団 ●こどもの日コンサート ●ヤング・アメリカンズ・ショー 	<p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> □顧客満足度 80% □合計入場者数 12,450 人 	<p>イ 横浜芸術アクション事業【再掲含む】</p> <ul style="list-style-type: none"> □顧客満足度 93% □合計入場者数12,485人 ●ピエロフラーヴェク指揮チェコフィル (1,930 人) ●熱帯 JAZZ 楽団 (915 人) ●日本フィル公演 グレート・アーティストシリーズ 山本直純 (514 人) ●石田泰尚+ダンス公演 (840 人) ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 横浜能楽堂・横浜みなとみらいホール提携公演 日韓伝統音楽祭 50 (815 人) ●ロンドン交響楽団 (3,684 人) ●こどもの日コンサート (2,522 人) ●ヤング・アメリカンズ・ショー (1,265人)
--	---	---

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む</p> <p>若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援とともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む</p> <p>市民が鑑賞行為以外のさまざまな形での音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>さまざまな事業で優れた若手音楽家・作曲家を事業に登用し、広く紹介するとともに成長の機会を提供しました。また、音楽振興を目的として活動する団体との連携や、「コンサートを作ろう」企画修了生の支援などを通じ、音楽と市民をつなぐ人材の育成にも取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>池辺館長および外部専門家や事業企画担当スタッフの専門的視点、および一般公募などの手法により若い音楽家を選定のうえ事業に起用し、ホールの現場でしか得られない経験を通じて将来の飛躍へとつながる研鑽の機会を提供しました。</p>

<p>(ア)演奏会への出演</p> <p>●小ホールオペラや「みなクル」「みんな集まれ！」等への積極的な登用</p> <p>(イ)現代の作曲家育成</p> <p>●Just Composed 開催</p> <p>●関連プレトーク開催</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>●「みなとみらい Super Big Band」</p> <p>●「オルガン体験弾いてみよう」</p> <p>●「金の卵探しています」</p> <p>●「吹奏楽クリニック」</p> <p>(エ)オルガニスト育成</p> <p>●オルガニスト・インターンの育成</p> <p>●「みなとみらいルーシーズ」リサイタル</p> <p>●1ドル・コンサートでの修了生起用</p>	<p>(ア)演奏会への出演</p> <p>□若手歌手/演奏家登用 10人</p> <p>(イ)現代の作曲家育成</p> <p>□若手作曲家 1名の登用</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「Big Band」 20人参加</p> <p>□「オルガン」 60人参加</p> <p>□「金の卵」 50人申し込み</p> <p>□「クリニック」 2校の参加</p> <p>(エ)オルガニスト</p> <p>□1年をかけて1名の育成</p> <p>□年間を通じて 10名の起用</p>	<p>(ア)演奏会への出演</p> <p>□若手歌手/演奏家登用 20人の登用 オルガニスト10人、歌手2人 みなクル起用8人</p> <p>(イ)現代の作曲家育成</p> <p>□若手作曲家 3名の登用 宮内康乃、池田拓実(以上 Just)、松岡あさひ(以上わかん)</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「Big Band」 34人参加</p> <p>□「オルガン」 40人参加</p> <p>□「金の卵」 64人申し込み</p> <p>□「クリニック」 2校の参加</p> <p>(エ)オルガニスト</p> <p>□オルガニスト・インターン1名の育成 演奏家としてのみならず、事業の立案運営から楽器のメンテナンスまで、ホールオルガニストとして欠かせない資質を1年間かけて研修する、全国でも類を見ない取り組みを実施。インターン1名を受け入れ研鑽の機会を提供しました。</p> <p>□年間を通じて 13名のオルガニストインターン修了生「みなとみらいルーシーズ」を起用しました。(うち10名は5月1日のオルガン公演で起用。1ドルコンサートでは3名)</p>
<p>(オ)ピアニスト育成</p> <p>●第34回横浜市招待国際ピアノ演奏会の開催</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)「コンサートを作ろう」企画修了生</p>	<p>(オ)ピアニスト</p> <p>□若手ピアニスト 4名の起用</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)企画修了生による協力イベント</p>	<p>(オ)ピアニスト</p> <p>□若手ピアニスト4名の起用 音楽の専門家から構成される企画委員会により応募者の中から起用するピアニストを選定。応募資格は国際コンクールに2回以上の入賞経験を持つ35歳以下のピアニスト。</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)企画修了生による協力イベント 市民プロデューサーとの協働がメディアからも注目さ</p>

<p>●企画参加修了生が活動を継続する</p> <p>●年間3回プロデュース事業開催</p> <p>(イ)音楽大学やNPO法人、地域企業等と提携し、地域とつながった企画運営をします</p>	<p>□合計入場者数 300人</p> <p>(イ)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <p>□提携事業 6事業</p>	<p>れ、特に小ホールで開催した「月についての尽きない音楽とお話」は市民プロデューサー自らプロモーション活動を行い、地元紙やラジオなどで公演が紹介されました。</p> <p>□合計入場者数 594人</p> <p>○美術館 Aura コンサート (合計 320人)</p> <p>○月についての尽きない音楽とお話 (200人)</p> <p>○サンデー・モーニング・コンサート クロマティック・ハーモニカ (74人)</p> <p>(イ)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <p>昼の公演「クラシック・クルーズ」の2月公演は、ホールの事業企画スタッフのサポートの元、昭和音楽大学インターン実習生が企画立案するとともに、プロモーション研修の一環でメディアにアプローチした結果、新聞やラジオで、インターン制度とともに公演が紹介されました。</p> <p>□提携事業 6事業</p> <p>○みなとみらいクラシック・クルーズ 昭和音楽大学</p> <p>○ヤングアメリカンズ じぶん未来クラブ</p> <p>○アウトリーチ STスポット</p> <p>○メサイヤ 昭和音楽大学</p> <p>○チャリティコンサート (一社) 日本アート・スポーツ振興機構</p> <p>○遊音地 ハマのJACK、玉川大、横浜シティオペラ</p>
--	--	---

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで15年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後10年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>夏休みのこども向け事業を再編し、3日間にイベントを集中させました。来場者が複数の公演を1日で楽しめる音楽のフェスティバルとして開催。予定を上回る来場者数を達成しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>(ア)夏の時期の家族向けフェスティバルを短期集中型に再編します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)フェスティバル再編</p> <p>□入場者数 6,000人</p> <p>□顧客満足度 80%</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)フェスティバル再編</p> <p>子どもたちが1日でより多くの事業を体験できるように、短期間集中して開催しました。個別の事業でも、ほぼ入場者数目標を達成しました。</p>

<p>●みなとみらいわくわく遊音地 8月14日～16日に開催 (イ)気軽に参加出来る事業の開催 ●心の教育ふれあいコンサート ●0歳からのオルガンコンサート</p> <p>(ウ)障がいのある子ども向けにオルガンワークショップを実施します ●盲特別支援学校との提携事業</p> <p>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、希望される音楽講座を開催します ● Music Teachers Project の開催</p>	<p>(イ) 気軽に参加出来る事業の開催 □入場者数 32,000人</p> <p>(ウ)障がいのある子ども向け事業 □年間2回開催</p> <p>(エ)音楽専科教員との音楽講座 □2回開催</p>	<p>□入場者数 6,454人 □顧客満足度 80%</p> <p>(イ) 気軽に参加出来る事業の開催 横浜市立の主に小学校5年生が必ず地元のオーケストラの演奏を聞く「心の教育ふれあいコンサート」は、保護者の鑑賞を促すために3階席を1,000円で開放し、親子で感動を共有出来るようにしている。 0歳からのオルガンコンサートは、通常のコンサートには入場できない未就学児のための事業。需要も高く満席での実施となりました。 □入場者数 36,443人 ●心の教育ふれあいコンサート (34,004人) ●0歳からのオルガンコンサート (2,439人)</p> <p>(ウ)障がいのある子ども向け事業 視覚障がいのある特別支援学校向けに、響きの豊かなパイプオルガンを中心に音楽の楽しさ素晴らしさを体験していただくワークショップを開催。参加者への鍵盤楽器への興味を引き出すとともに、当日協力する学生ボランティアにも貴重な経験の機会となっています。 □小学生向け (6/9) と中学生向け (7/14)</p> <p>(エ)音楽専科教員との音楽講座 毎年のアンケートから本年度は「オルガン」と「声楽」をテーマとした。特にオルガンは当館でないと実体験しにくいいため、教員が自身で演奏出来る時間を多く取りました。 □声楽とオルガン 計2回開催</p>
---	---	---

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果] 多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p> <p>[成果についての振り返り] 小学校、中学校、障がい者施設、病院等、地域社会に貢献するためにさまざまなアウトリーチ事業を実施しました。</p>
--

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>(ア) 小学校・障がい者施設をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校 ● 障がい者施設 ● 病院・福祉施設等 <p>(イ) 商店街のイベント広場等でのアウトリーチを拡充します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クイーンズサークル ○ Mark Is ○ 中華街 <p>(ウ) 「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 街の音楽院 ● その他のレクチャー(コンサート)等 	<p>(ア) アウトリーチ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3校 <input type="checkbox"/> 1施設 <input type="checkbox"/> 1施設 <p>(イ) 商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 年間4回以上開催 <p>(ウ) レクチャーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総入場者数 250人 <input type="checkbox"/> 街の音楽院 3回開催 <input type="checkbox"/> その他レクチャー等 3回開催 	<p>(ア) アウトリーチ事業</p> <p>横浜市が進める学校プログラムの一環として小学校へのアウトリーチ事業を実施しました。ネット等を通じて手軽に音楽を聴ける時代だからこそ、生の音楽が発するパワーに触れることで芸術文化の魅力や楽しさに気づく機会を提供し、こどもの創造力育成に寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 小学校 4校 (青葉台・白根・浦島・城郷) 中学校 1校 (錦台) <input type="checkbox"/> 1施設 (3/18 創造空間にし) <p>コンサートホールに出かけることに困難を伴う対象者に、第一線の若手音楽家の演奏を聴く機会を提供し、音楽による感動を体験していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1施設 (3/25 けいゆう病院) <p>(イ) 商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 年間7回開催 <p>商店街との調整により中華街近くのマリントワーでのイベント2回、マークイズに代わって近隣ホテルで3回など会場を変更しつつ広く音楽を届けました。</p> <p>(マリントワー2回 クイーンズサークル2回 近隣ホテル(「カフェトスカ」「トゥーランドット」「インターコンチネンタルホテル ロビー」))</p> <p>(ウ) レクチャーコンサート</p> <p>ハマのJACKの室内楽・Just Composed in Yokohama・横浜市招待国際ピアノ演奏会などの主催事業に関連付けてレクチャーを開催。レクチャーを通して主催事業の内容への理解を深めていただくことが集客へとつながりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総入場者数 297人 <input type="checkbox"/> 街の音楽院 5回開催 <input type="checkbox"/> その他レクチャー等 3回開催

(6) ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</p> <p>主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法をwebでの発信を中心に検討していきます。</p>

イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮
 芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資す
 るような講演会を実施していきます。

[成果についての振り返り]

主催事業の動画をネット上にアップするなど、記録資料の有効活用を行いました。

財団が設置する動画サイトに過去ホールで主催したオペラ公演を公開することで、コンサートホールで気軽にオペ
 ラ楽しむスタイルを広く発信するとともに、先々の小ホールオペラシリーズの販売促進にもつなげました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
ア 公演情報の記録と整理 イ コーディネーター機能 ●街の音楽院や自主イベントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にします。	ア 公演情報の記録と整理 ○主催公演を記録します。 イ コーディネーター機能 □3回	ア すべての主催公演の録音・録画を実施しました。 □過去の主催公演の記録動画をyoutubeで公開 3件 イ □コーディネーター機能 3回 ○NHK文化センターとの連携講座 1回 ○かもめスクール 1回 ○街の音楽院「ライブラリアン」 1回

6 運営についての達成状況

(1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

[目指す成果]

ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む

多様な利用希望や利便性に配慮した柔軟な対応により、当館の特性を活かした施設提供を行います。また、市民の創作活動や発表の場として広く認知され愛される取組みを展開します。

イ 音楽を楽しむ層の拡大に取り組む

近隣施設や企業等との連携を強化し、音楽演奏を組み入れた形での利用を提案。ホールにあまり縁のない客層がホールに足を運び、ホールの認知度を高める機会の一助とします。

ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する

利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。また、第一線でお客様と接するレセプションニストの接客能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。

[成果についての振り返り]

レセプションルームでは、MICE事業者やコンベンション事業者向けに演奏つきでホールの説明会を開催し、今後の利用促進を行いました。また、みなとみらい地区で働く方々向けに、神奈川フィルハーモニー常任指揮者のトークイベントを開催するなど、アーティストと近隣企業をつなぐとともに、ホールのPRにもつなげました。

レセプションニストについては、定期的なミーティングを重ねて現場との情報共有を密にし、お客様の声を活かして、全体的なスキルアップを心がけました。また、夏の全体研修では、企画・運営アドバイザーにより、コンサートホールのミッション・可能性という視点でお話をいただき、レセプションニストの役割など意識向上につながりました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <p>●レセプションルーム利用の見本となるイベントを実施し、利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <p>近隣施設・企業等のコンベンションの一環としての貸出を実施します。</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <p>●レセプションニスト研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用時研修 ・フォローアップ研修 ・チーフ研修 ・コーチャー研修 ・全体研修 ・避難訓練 	<p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <p>□年2回開催</p> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <p>□年1回開催</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <p>□レセプションニスト研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用時2日間、その後2回に分けて実施 ・採用6か月後1回 ・年1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回 	<p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <p>□3回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/15 MICE事業者向けの演奏付説明会 ・6/3 MMcc向け神奈川フィル常任指揮者川瀬健太郎によるトークイベント ・10/1 コンベンション事業者向け演奏付説明会 <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <p>□近隣コンベンション施設との定期的な情報交換・各企業に合わせた柔軟で丁寧な貸出し対応により、国際学会・近隣大手企業のコンベンション利用にパイプオルガンを使用した貸出を行いました。新規顧客層にコンサートホールの特別感やパイプオルガンの魅力をアピールすることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣コンベンション施設：5回 ・近隣企業によるコンベンション利用：1回 <p><u>ウ 質の高いサービスの安定提供</u></p> <p>□計画通りに実施。</p>

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u></p> <p>近隣の企業と組んで、ホールのイメージが企業にとっても付加価値となるような、企業の顧客向けのコンサート</p>
--

等を開催し、双方にとってメリットとなるような利用を促進します。

イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する

自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします

運営では、利用者懇談会やアンケートを引き続き実施し、利用者のニーズを探り、そこから客観的なホールの強みを発見し、それを生かしていきます。また、お客様と第一線で接するレセプションистのマネージャーとのミーティングを定期的実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。

ウ 施設見学については、ホールの下見対応に加えてホールの使い方の他、運営面で必要なあれこれをレクチャーし、安心して本番を迎えてもらえるような機会を設けます。

エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する

来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。引き続き「横浜みなとみらいホールでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。

オ チケット販売だけでなくホールチケットセンター

自主公演、貸館公演問わず、各種の問い合わせや相談に対し、丁寧で正確に対応しつつ、公演チケットを販売する窓口を運営します

カ 主催者の求めに応じ、公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する

催しの内容によってドリンクサービスの内容を調整したりなど、利用者のニーズに応じて柔軟な対応でドリンクコーナーの営業を行います。

キ 託児サービスを提供する

専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。昨年度に引き続き、託児サービスの存在を HP 等で積極的に周知し、子育て期間中のお客様がホールに足を運びやすい環境を整えます。

[成果についての振り返り]

26年度に比べて複数日にわたる大型利用が減少したため比較的落ち着いた利用状況でしたが、大・小ホール、レセプションルーム、音楽練習室で目標数値を達成しています。これまで稼働率が課題であったレセプションルーム・音楽練習室については、室場別にPR方法を工夫。レセプションルームは、ホール利用者への地道なPRや利用促進のための説明会等を行いました。音楽練習室は、26年度にHP上で空き情報を公開し顧客利便性・PRの向上に努めた結果、初めて80%を超える稼働率を達成しました。

新規や昨年度からの継続のものも含め、企業の顧客向けコンサートでの利用が昨年度以上に入り、それぞれのコンサートともたいへん多くのお客様にご来場いただくことができました。それぞれの企業に合った内容で打合せ等を丁寧に対応し、企業・ホール双方のメリットにつながっています。

レセプションルームの利用について、レセプション利用や、小規模の発表会や演奏会など、様々な利用相談に応じ、

利用拡大につなげることができました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 利用促進</u></p> <p>●近隣企業への利用促進活動を実施</p> <p>●利用率</p> <p>大ホール</p> <p>小ホール</p> <p>リハーサル室</p> <p>レセプションルーム</p> <p>音楽練習室</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>●レセプションист・マネージャーミーティングの実施</p> <p>○レセプションистの業務をアピールする機会の設定</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>●通常のホール利用下見対応</p> <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>●売れ筋の傾向を見極め、新規取扱い商品の開拓</p> <p>●立ち寄りたくなるショップのPR</p>	<p><u>ア 利用促進</u></p> <p>□近隣企業の顧客向けコンサート：年2件</p> <p>□利用率（H25年度音祭り開催）</p> <p>* 93%（H25実績 97%）</p> <p>* 96%（H25実績 98%）</p> <p>* 65%（H25実績 66%）</p> <p>* 25%（H25実績 25%）</p> <p>* 75%（H25実績 72%）</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>□年10回</p> <p>○年1回</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>□年間90件</p> <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>□新規取扱い商品 4点</p> <p>■公演に適した商品陳列を工夫して行う。</p>	<p><u>ア 利用促進</u></p> <p>□顧客向けコンサート：4件実施</p> <p>・自動車会社主催：7/17、12/1、12/21</p> <p>・新聞社主催：12/9</p> <p>□利用率</p> <p>大ホール：96%</p> <p>小ホール：99%</p> <p>リハーサル室：58%</p> <p>レセプションルーム：28%</p> <p>音楽練習室：82%</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>□年10回</p> <p>○職業体験・他都市視察の際にレセプションист業務をアピールしました。</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>□年間 119件</p> <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>□新規取扱い商品 39点（うちオリジナル商品の開発は3点）</p> <p>平成26年度に比し、売上は2%、オリジナル商品売上は18%増でした。オリジナル商品は、クリスマスパイプオルガンコンサートに合わせたクリアフォルダー、楽器シリーズ第3弾としてトランペット画のクリアフォルダー&チケットフォルダーを新規制作しました</p> <p>■季節や公演内容を考え、商品陳列を変え、新鮮な品ぞろえを工夫しました</p> <p>□全く新しい試みとして、オリジナル包装材（A4、A5サイズの袋、止めシール）を、ホールの広報物としての機能も考え開発しました</p>

<p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>●丁寧で正確な対応を実施します。</p> <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>大ホール・小ホールホワイエに設置されているドリンクコーナーにおいて主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意します。</p> <p><u>キ 託児サービス</u></p> <p>●HP 等を活用した託児サービスの周知</p>	<p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>■業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>■業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p><u>キ 託児サービス</u></p> <p>□年2回以上</p>	<p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>■急な公演中止や払い戻し対応なども含め、業務の基準に従い適切に実施しました</p> <p>■経年劣化が目立ったチケットセンター内の通信設備を調査し刷新しました（留守番機能付き電話への入れ替え、ICチップ付きカードリーダー、ファックス複合機）</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>■業務の基準に従い適切に実施しました。また、取扱業者との打合せも行い、サービス向上のための素地づくりに努めました。</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>□ホームページ上で年2回PRしました。</p>
--	--	---

(3) プロモーションの充実

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 適切な商圈・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む</u></p> <p>プロモーションを強化し横浜みなとみらいホール全体としての発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸とした独自ブランドを形成します。</p> <p><u>イ Web ツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する</u></p> <p>購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れた WEB サイトを中心としたオウンドメディアの充実を図ることにより、発信力を強化します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>当ホールの広報について、現況に対する満足度と課題を分析し、よりわかりやすい広報をめざし、他館訪問調査、友の会会員約2,300名およびホールスタッフ（職員、レセプションист）へのアンケートを実施し、その分析を踏まえ、プロモーション媒体の取舍選択と広報媒体の見直し・改訂を行いました。</p> <p>なお主催公演ごとに実施している来場者アンケートの分析結果を元に、公演チラシ、ホームページ、友の会誌の改訂を実施しました。</p> <p>ア ホールそのものの魅力を自主広報媒体はじめ近隣との連携から他媒体でもホールそのものの発信に努めるとともに、近隣商圈との情報交換および優待条件を引き出し、ホール利用者へ還元するよう努めました</p> <p>イ Webをはじめホールの自主広報媒体（ホームページ、3か月および年間カレンダー、友の会会報誌など）を分析し、より見やすく使いやすく、を第一目途に全面改訂を行いました</p>

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ●首都圏へのプロモーション ●プレス懇談会実施によるメディアとの強固な関係構築 ●各媒体との関係強化・情報発信力アップ ●友の会入会キャンペーン実施 ●公開リハーサル・ロビーコンサート実施 ●コンサートカレンダーの発行 	<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>首都圏との広報連携 <input type="checkbox"/>年1回 <input type="checkbox"/>各媒体への情報掲載 月間70件 <input type="checkbox"/>年間1回 <input type="checkbox"/>公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計3回 <input type="checkbox"/>コンサートカレンダー 年4回 <input type="checkbox"/>年間コンサートカレンダー 年1回 	<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公演チラシやカレンダーの相互配置、東急沿線への告知 <input type="checkbox"/>次年度（2016）年度事業のプレス懇談会の開催 3/9（水）に開催。プレス22名、市5名ほか3名の出席 <input type="checkbox"/>各媒体への情報掲載 月平均151件 <input type="checkbox"/>友の会入会キャンペーンを1回（9/5～11/30）実施 期間中の新規会員は146名 <input type="checkbox"/>公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計4回（7/8, 7/10, 7/20, 2/12）開催 <input type="checkbox"/>四半期4か月カレンダー 年4回発行 <input type="checkbox"/>年間コンサートカレンダー 2016年度版1回発行
<p>イ WEBを活用したプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ●WEBサイトの充実 ●メールマガジン配信 ●メールマガジン登録者数拡大 ●ツイッター運用・活用 ●WEB上の読み物ページ作成 ●チケットセンターWEBでの販売強化を通じた新たな顧客層の開拓 	<p>イ WEBを活用したプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>トップページアクセス数 年間32万件 <input type="checkbox"/>メールマガジン配信 月1回 <input type="checkbox"/>7,000名 <input type="checkbox"/>ツイッターでの発信 年間200ツイート <input type="checkbox"/>ツイッターフォロワー 3,300件 <input type="checkbox"/>WEB上の読み物ページ 年4回 <input type="checkbox"/>WEB登録者優遇策の導入 	<p>イ WEBを活用したプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>トップページアクセス数(3月末)491,045件 <input type="checkbox"/>メールマガジン配信 合計17回（6、11、12月は2回、10月は3回、その他月1回） <input type="checkbox"/>メールマガジン登録者（3月末）8,138名 <input type="checkbox"/>ツイッターでの発信 年間205ツイート <input type="checkbox"/>ツイッターフォロワー3,914名 <input type="checkbox"/>WEB上の読み物ページ4回 5/25, 9/10, 10/15, 12/29 <input type="checkbox"/>四半期4か月カレンダーの特集を紙面では紹介しきれなかった取材記事を再編集して掲載したり、動画での取材・紹介映像など読物ページを4回掲載しました <input type="checkbox"/>WEB登録者数優遇策 WEB先行販売を導入しました

(4) 条例の遵守

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 休館日</u></p> <p>●保守点検、定期整備、大規模修繕のため、必要な施設点検日（休館日）を設定します。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>●条例及び規則に基づく設定</p> <p>●利用者の希望等、延長利用などに柔軟に対応します。</p> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <p>●条例に基づいた適切な料金徴収</p> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p><u>オ 留意事項</u></p>	<p><u>ア 休館日</u></p> <p>□年間 29 日の休館日を確保しつつ、10～12 月のコンサートシーズンは月 1 日の休館日とし、柔軟に対応します。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>□9：00～22：00</p> <p>■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で対応します。</p> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <p>■条例に基づく適正な料金徴収を行います。</p> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p>■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。</p> <p>■撮影等の利用についても柔軟に対応します。</p> <p><u>オ 留意事項</u></p> <p>■条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。</p>	<p><u>ア 休館日</u></p> <p>□年間29日の休館日</p> <p>・1月1日、2日以外は全て計画的にメンテナンス・工事等で柔軟に対応できました。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>□9:00～22:00を基本開館時間として運営。</p> <p>■利用者の希望に応じ、早朝・深夜の利用にも柔軟に対応しました。</p> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <p>■条例に基づき、適正な料金徴収を行いました。</p> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p>■条例・規則に基づき、利用者ニーズに配慮した貸出を行いました。</p> <p>■ドラマ撮影等にも柔軟に対応しました。</p> <p><u>オ 留意事項</u></p> <p>■条例・規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を行いました。</p>

利用状況等について

施設名	27年度	
	稼働率	利用者人数
大ホール	96% (89%)	408,909 人
小ホール	99% (90%)	89,494 人
リハーサル室	58% (42%)	15,026 人
音楽練習室	82%	18,380 人
レセプションルーム	41% (28%)	5,573 人
その他	—	4,099 人
合計		541,481 人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

7 施設維持管理について

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施 ●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託 ●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。 ●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定 ●QSY管理組合や横浜市と連動した危機管理の実施 ●過失事故の防止 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●QSY管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかります。 ●設備関係の点検・定期整備業務 ●舞台関係の点検・定期整備業務 ●設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報交換 	<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □定期メンテナンス 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン 年1回 ・コンサートピアノ 年1回 ・練習室ピアノ 年12回 ・リハーサル室ピアノ 年1回 ・楽屋ピアノ 年3回 ■設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行います。 ■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映させます。 ■休館日設定や、予算面などの情報交換を密にはかり、大規模修繕計画を進めます。 □過失事故0件 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■会議への参加、必要事項を施設内に周知 ■点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施 □客席保守点検：大小ホールとも 年2回 □舞台照明定期保守年3回 □舞台音響定期保守年2回 □舞台機構定期保守年3回 	<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □定期メンテナンス <ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン保守：1/26～29 ・コンサートグランドピアノ保守点検 スタインウェイ1号機：8/14, 15 スタインウェイ5号機：3/5, 6 スタインウェイ6, 7号機：3/30, 31 ヤマハCFX：8/14, 15 ベーゼンドルファー：2/13, 14 ・練習室ピアノ：毎月実施（年12回） ・リハーサル室ピアノ： スタインウェイ3号機：8/14, 15 ・楽屋ピアノ：7, 10, 2月実施（年3回） ■長寿命化修繕工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・10月 パッケージエアコン更新工事-1 ・11月 パッケージエアコン更新工事-2、蒸気バルブ更新工事 ・12月 照明制御装置更新工事 ・1月 大ホール舞台床改修工事 ・2月 空調自動制御設備更新工事、UPS更新工事、BAシステム更新工事（1期）、シャッター危害防止装置の設置 □過失事故0件 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■QSY管理組合会議への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、電気連絡会に参加 ■年間計画作成・実施 □客席保守点検：年2回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール 8/7・3/26 ・小ホール 8/5・2/3 □舞台照明定期保守点検 6/22・10/19・3/22 □音響定期保守点検 8/6・2/16 □舞台機構定期保守点検 7/6・11/16・2/22 ■設備・舞台スタッフと情報交換し、小破修繕30件実施
<p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●法令等に基づき、適正な 	<p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □空気環境測定 年6回 	<p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □空気環境測定 年6回実施

<p>施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>●業務の基準に基づき保安警備業務を適切に行います。</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>●業務の基準に基づき駐車場御利用者等の安全確保に努めます。一般歩道に面した搬入口での搬出入には必ず立ち会います。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します。</p> <p>●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します。</p> <p>●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認を配慮します。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>●業務の基準に基づき、防火防災に努めます。</p> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>●防災マニュアル、危機管</p>	<p>□照度測定 年2回</p> <p>■ごみ分別の徹底</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>□過失事故0件</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>□過失事故0件</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>□植栽手入れ 年5回</p> <p>■日々の状況把握に努めます。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>■QSY 防火防災管理協議会に参加し、地域全体で情報共有します。</p> <p>□防災管理自主点検年2回</p> <p>□防災設備点検 年1回</p> <p>□消防訓練・防災訓練</p> <p>避難訓練コンサート1回を含む年2回</p> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>■施設内での周知の場を設</p>	<p>□照度測定 年2回実施</p> <p>■ごみ分別は日常的に徹底しています。</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>□過失事故0件</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>□過失事故0件</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>□植栽手入れ 年5回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/6病虫害防除、除草、手入れ ・6/8病虫害防除、剪定、施肥、芝刈、除草 ・8/24病虫害防除、除草、手入れ ・10/19生垣剪込、低木剪定、手入れ、芝刈、除草 ・3/22粒状固形肥料の散布、手入れ <p>※ツゲノメイガの発生には十分注意を祓った</p> <p>■ウッドデッキの安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな窪みはパテ埋めを施し安全対策を行った。 <p><u>キ 防災等</u></p> <p>■QSY防火防災管理協議会に参加し、地域全体で防火防災関係の情報共有・交換に努めました。</p> <p>□防災管理自主点検：2回実施（5/25、12/17）</p> <p>□防災設備点検：1/25</p> <p>□消防・防災訓練：3回実施（7/16、9/24：避難訓練コンサート、2/19）</p> <p><u>ク 緊急時対応</u></p> <p>■分かりやすい防火防災マニュアルの設置</p> <p>デジタルトランシーバー増設による緊急時対応力の</p>
---	--	--

<p>理マニュアル</p> <p>●救急要請、事故報告</p> <p>ケ 有資格者の配置</p> <p>●電気主任技術者</p> <p>●建築物環境衛生管理技術者</p> <p>●ボイラー技師</p> <p>●無線従事者</p> <p>●甲種防火管理者及び防災管理者</p> <p>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</p> <p>●条例及び規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。</p>	<p>定</p> <p>■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底します。</p> <p>ケ 有資格者の配置</p> <p>■QSY 管理組合の電気主任技術者をもって配置にかえます。</p> <p>■管理センターに技術者を設定（ボイラー含む）</p> <p>□防火・防災管理者 職員 1名配置</p> <p>□無線従事者 2名配置</p> <p>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</p> <p>■事例が発生する場合、速やかに手続きを行います。</p>	<p>向上。</p> <p>■AED研修実施：2/29</p> <p>ケ 有資格者の配置</p> <p>■電気主任技術者：1名配置</p> <p>■管理センターに配置</p> <p>□防火・防災管理者：1名配置</p> <p>□無線従事者：2名配置</p> <p>コ 条例で定める業務以外の施設使用</p> <p>■条例及び規則に基づいた適正な手続きを実施しました。</p>
---	---	---

8 その他の業務について

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>●政策経営協議会を開催します。</p> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>●モニタリングを実施します。</p> <p>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。</p>	<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>□年 4 回</p> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>□原則月 1 回（8 月 2 月を除く）</p> <p>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。</p>	<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>□年 3 回</p> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>□原則月 1 回年 10 回実施しました。</p> <p>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画にも反映させました。</p>

<p>ウ 業務評価</p> <p>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</p>	<p>ウ 業務評価</p> <p>□自己評価・横浜市評価 年 2 回</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施</p>	<p>ウ 業務評価</p> <p>□自己評価・横浜市評価 年 2 回</p> <p>■定められた指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングを実施しました。</p>
---	--	--

(2) 収支について

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <p>●ファンドレイジング活動に取り組みます。</p> <p><u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <p>●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 収入</u></p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 37,625 千円</p> <p><u>イ 支出</u></p> <p>□電気使用量・冷熱水量 25 年度使用量維持</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><u>ア 収入</u></p> <p>企業協賛金：10,125千円 助成金：22,992千円 合計：33,117千円</p> <p><u>イ 支出</u></p> <p>□平成25年度実績対比</p> <p>電気使用量 92.4% 冷水使用量 87.6% 温水使用料 77.2%</p>
--	---	---

9 組織について

(1) 組織について

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>●新たな組織図及びグループ毎の業務分担表作成</p> <p>●組織内意思決定</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員を確保し、より高い専門性を発揮でき</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>□企画運営会議を毎週開催し、意思決定を行います。</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>■各専門性に応じた適正な人員配置を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>□企画運営会議を毎週開催し、情報共有・意思決定を行いました。</p> <p><u>イ 専門人材の確保</u></p> <p>■各専門性に応じた人員配置を実施し、専門性を発揮できる組織づくりに努めました。</p>
---	--	--

る組織づくりに努めます。		
--------------	--	--

(2) 人材育成

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。 ●ホール独自の研修として、レセプション研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します。 ●事務局研修への参加 	<p>■MBOの目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。</p> <p>■レセプション研修：6（1）参照 職員への個人情報保護研修 1回 危機管理訓練 1回</p> <p>■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくりま</p>	<p>■OJT及びMBOによる中間・期末の面談を計画的に実施しました。</p> <p>■レセプション研修：6（1）参照</p> <p>■新配属職員への研修：1回、ホール全職員への研修：1回、危機管理研修：3回</p> <p>■事務局研修に積極的に参加できるようシフト等、柔軟に対応しました。</p>

10 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険 	<p>■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。</p>	<p>■定められた内容で各種保険に加入し、迅速かつ適切に対応しました。</p>

(2) 法令の遵守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。 	<p>■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底</p> <p>■個人情報チェックリストによる点検実施</p>	<p>■個人情報取扱いマニュアルを配布し、周知徹底しました。</p> <p>■個人情報チェックリストによる定期点検を実施しました。</p>

(3) 情報公開

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観 	<p>■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行</p>	<p>■横浜市、財団事務局との連携により、情報公開の体制は整っていますが、27年度の情報公開請求はありま</p>

点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。	います。	せんでした。
------------------------	------	--------

(4) 市および関係機関等との連絡調整

[取組内容] ●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。	[達成指標] ■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等すみやかにいきます。	[実施内容と達成状況] ■日頃から横浜市との連携をはかり、報告事項が発生した際は、速やかに対応しました。
---------------------------------------	--	---

1 1 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	526,521,000	526,521,000	0	
市からの委託料収入	18,370,000	19,525,126	1,155,126	
利用料金収入	203,085,000	200,644,123	△ 2,440,877	
事業収入	144,999,000	130,302,008	△ 14,696,992	
助成金・協賛金	37,625,000	33,116,993	△ 4,508,007	
その他収入	2,057,000	3,178,517	1,121,517	
合計	932,657,000	913,287,767	△ 19,369,233	
支出				
人件費	201,512,000	199,372,960	△ 2,139,040	
事務費	137,034,000	141,322,299	4,288,299	
管理費	328,188,000	312,493,937	△ 15,694,063	
負担金	24,087,000	24,056,820	△ 30,180	
事業費	222,560,000	195,349,164	△ 27,210,836	
その他支出	19,276,000	20,835,253	1,559,253	
合計	932,657,000	893,430,433	△ 39,226,567	
収支差額	0	19,857,334	19,857,334	